プレス発表

独立行政法人
大学入試センター
National Center for
University Entrance Examinations

令 和 ５ 年 ６ 月 ３ ０ 日
独立行政法人大学入試センター

令和５年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書の公表について

令和５年１月に行われた令和５年度大学入学共通テスト本試験及び追・再試験に関し、当センターに設置する問題評価・分析委員会にて当該試験問題の評価を行い、報告書を作成しましたので、以下のＵＲＬが示すページにて公表します。（報告書の構成については別添参照）

また、本年度から、報告書とともに、本試験の全科目の「設問別得点率及び正答率」及び「科目別成績分布」を同ページにて公表します。

URL：https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/hyouka/

公表資料

〇令和５年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書（本試験）

〇令和５年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書（追・再試験）

〇令和５年度大学入学共通テスト試験情報データ（本試験）

・設問別得点率及び正答率（csv形式、pdf形式）

・科目別成績分布（csv形式、pdf形式）

別 添

令和５年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書の概要

大学入試センターでは、大学入学共通テストの試験問題の評価・分析を行うために、高等学校教員等からなる外部評価分科会と、試験問題を作成した問題作成委員からなる自己点検・分析・評価分科会の２つの分科会で構成された大学入学共通テスト問題評価・分析委員会を設置しています。当委員会が科目ごとに評価・分析した結果を掲載したものが当該報告書となります。

当該報告書は各教科・科目ごとに次の第１～第３の順序で構成されています。

第１　高等学校教科担当教員の意見・評価　（※）

高等学校教員等により、以下の観点から総合的に評価したもの。

⑴　問題作成方針を踏まえて，知識の理解の質を問う問題や思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題の出題も含め，バランスのとれた出題となっている（出題のねらい）

⑵　高等学校学習指導要領の範囲内から出題されており，特定の分野・領域に極端に偏っていない（出題範囲）

⑶　問題で使用される資料等が，特定の教科書に偏っていない（題材）

⑷　高等学校における学習の過程を意識した問題の場面設定がなされた問題が含まれており，その場面設定が，教科・科目の本質に照らし必然性のある形で出題されている（問題の場面設定）

⑸　試験問題の構成（設問数，配点，設問形式等）は適切である（問題構成）

⑹　文章表現・用語は適切である（表現・用語）

⑺　問題の難易度は適正である（難易度）

⑻　得点のちらばりは適正である（得点のちらばり）

※巻末に項目別及び総合的観点から適切であったかを４段階で評価した表を掲載。

第２　教育研究団体の意見・評価

科目に関連のある教育研究団体に対して、意見・評価の提出を依頼し、回答が寄せられたもの。

第３　問題作成部会の見解

問題作成部会が，各科目の問題作成について自己点検するとともに，上記の意見・評価について慎重に検討し，見解を取りまとめたもの。